

| 学年         | 技能  | 思考・判断  | 態度   | 内容の取扱い  |   |
|------------|---|--|--|---|---|
| 第1学年及び第2学年 | 現行<br>次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、泳法を身に付けることができるようにする。   | ア クロールでは、手と足、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。                       | 現行<br>水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。                            | 現行<br>水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に気を配ることができるようにする。  | 現行<br>第1学年及び第2学年においては、アからエまでの中からア又はイのいずれかを含む二を選択して履修できるようにすること。第3学年においては、アからオまでの中から選択して履修できるようにすること。また、泳法との関連において水中からのスタート及びターンを取り上げること。なお、水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができるが、水泳の事故防止に関する心得については、必ず取り上げること。また、保健分野の応急手当との関連を図ること。   |
|            |   | イ 平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。                        |  |   |   |
|            |   | ウ 背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。                          |  |   |   |
|            |   | エ バタフライでは、手と足、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。                        |  |   |   |
|            | 新<br>次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、 <b>水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに</b> 、泳法を身に付けること。 | ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり速く泳ぐこと。                    | 新<br>自己の能力に適した課題を見付け、 <b>水の中での動きを身に付けるための活動</b> を工夫するとともに、 <b>考えたことを友達に伝えること</b> 。               | 新<br>水泳に積極的に取り組むとともに、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、 <b>一人一人の違いに応じた課題や挑戦を認めようとする</b> ことなどや、水泳の事故防止に関する心得を <b>遵守する</b> など健康・安全に気を配ること。                         |   |
|            |   | イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり長く泳ぐこと。                     |  |   |   |
|            |   | ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。                       |  |   |   |
|            |   | エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスをとり泳ぐこと。                     |  |   |   |
| 第3学年       | 現行<br>次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、効率的に泳ぐことができるようにする。   | ア クロールでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。    | 現行<br>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解し、自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。                               | 現行<br>水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全を確保することができるようにする。   | 新<br>第1学年及び第2学年においては、アからエまでの中からア又はイのいずれかを含む二を選択して履修できるようにすること。第3学年においては、アからオまでの中から選択して履修できるようにすること。なお、 <b>学校や地域の実態に応じて、安全を確保するための泳ぎを加えて履修させることができる</b> こと。また、泳法との関連において水中からのスタート及びターンを取り上げること。なお、水泳の指導については、適切な水泳場の確保が困難な場合にはこれを扱わないことができるが、水泳の事故防止に関する心得については、必ず取り上げること。また、保健分野の応急手当との関連を図ること。 |
|            |   | イ 平泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。     |  |   |   |
|            |   | ウ 背泳ぎでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。                 |  |   |   |
|            |   | エ バタフライでは、手と足、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。               |  |   |   |
|            |   | オ 複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすること。                             |  |   |   |
|            | 新<br>次の運動について、記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、 <b>技術の名称や行い方、体力の高め方、運動観察の方法などを理解するとともに</b> 、効率的に泳ぐこと。              | ア クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。 | 新<br>泳法などの自己や <b>仲間の課題</b> を発見し、 <b>合理的な解決に向けて運動</b> の取り組み方を工夫するとともに、 <b>自己の考えたことを他者に伝えること</b> 。 | 新<br>水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとする、自己の責任を果たそうとすること、 <b>一人一人の違いに応じた課題や挑戦を大切にしようとする</b> ことなどや、水泳の事故防止に関する心得を <b>遵守する</b> など健康・安全を確保すること。 |   |
|            |   | イ 平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすること。  |  |   |   |
|            |   | ウ 背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。              |  |   |   |
|            | エ バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐこと。   |  |  |   |   |
|            | オ 複数の泳法で泳ぐこと、又はリレーをすること。  |  |  |   |   |